

村上 隆 現代アートで時代をかえる

① 2013年2月26日
NHKラジオ

村上隆は世界で注目される現代アーティスト。ユニークなアニメのキャラクターみたいなものや、フィギュアなどの彫刻を作っている。

今までフィギュアは6種類つくっていて、2008年に、そのうち『My Lonesome CowBoy』（左手で勃起した男性器を握り、精液を放出する裸の青年の等身大のエロティックなフィギュア）を競売会社ザビーズがニューヨークでオークションを行い、1516万ドル（約16億円）で落札された。桁外れな価格。同時期、運慶の仏像が15億円で落札されている。

2008年にはタイム誌の世界に影響のある100人に選ばれている。日本人ではノーベル賞を受賞した山中教授と村上隆の二人だ。またロンドンでは世界のアーティスト100人の仲にも選ばれている。2009年にはベルサイユ宮殿での個展、2012年にはカタールのドーハで展覧会を開き、100mに及ぶ五百羅漢図は評判になった。

村上は芸大で日本画を学び大学院では博士号をえている。何がきっかけで現代アートの世界に入ったのか？

日本で教育されている芸術とは、オリジナリティがあり、ユニークでアーティストが孤高な生き方をしている……これらが大切みたいな先入観がある。しかしあるとき大竹しんぞうさんの展覧会を見て衝撃を受けた。それまで11年間日本画を勉強していた。現代アートを研究してみたが良くわからず32歳の時にニューヨークに渡った。NYは現代アートの中心。現代アートの情報が溢れている。NYで感じたことは日本で思っていたオリジナリティ、ユニーク、孤高な生き方みたいなルールではなく、当時はマイノリティがおおきなテーマであった。ファッションと同じようにトレンドがあり街中に情報があふれている。白色人種でない我々マイノリティが脚光をあびる時期があって、たまたまその時期にぶつかっていた。キューバ人の作品、そのあとに中国人の作品、いづれもマイノリティの作品がきた。自分は中国人の作品（毛沢東と自由との対比とか）が注目されているちょっと前にいた。

印象派の作品は今は高く評価されているが、当時はマイノリティであった。最後は時代が洗い残していくつかのアートが後世に残る。偶然、残る。

伊東若冲と言う江戸時代の作家がいる。ある発見から彼の生き方、絵の価値が見直されてきた。60才を越えて食うに困った底力みたいなものが感じられる。現在残っている作家は偶然が多い。戦後若冲の作品が海外に出、当時はそんなに高くなく、ゲテモノの範疇だった。しかしあるアメリカのコレクターが若冲の絵が好きで集めているうちに彼の評価が次第に変わってきた。後世の人が価値を決めている。江戸時代の京都画団でも若冲は6、7番目にいて光琳に比べると価値が低かった。しかし、ここ30年位は光琳と同じぐらいの評価になってきた。

16億円で落札されたフィギュアは破格な金額。価格の面から見ると運慶の上を行ってしまった。現代美術と資本主義の関係性がある。オークション会社は高くせり上げて高く売りたい。最初は5、6人が競っていたが5億円を越えたあたりから二人になり、最後は16億円になった。日本のオタクのフィギュアの姿を、またギリシャ彫刻をも模倣しているものだ。

16億円は偶然なのです。何故、印象派のモネが好きなのか？ それはブランドだから……誰かモネを好きな人がいてマーケットを支え続けている。だから今でも高額で取引されている。最終は大衆が価値を決めている。モネの絵を見ていると心が安らぐ……という理屈で。

芸術でもファンタジスティックなものがある。芸樹家はいつも時代に残るゴールを探している。そこにマイノリティというエリアとかセクシャリティとかのゴールがあって狙っている。マネの裸で食事している絵は誰が見ても凄い……と感じる。しかもその時代のトレンドでも、これはないだろう！の範疇。今は通じるが当時は通じなかった。長い時代がかかって今は尊敬されている。

芸術は感性と才能とと思っている人が多いが、これは違う。珍妙であることが大切。芸大で博士号を取った人がアニメっぽいものとか、フィギュアをどうして作っているのかわからない（インタビューの方の質問）漫画と芸術はどちらが偉い？の感じで話をされる方が多いが漫画が日本の芸術では未来永劫、輝ける芸術なのです。この啓蒙が美味くいいない。マネなどは評論家・コレクター・画商などが一生懸命に啓蒙して一流の芸術になった。漫画も同じで誰かが啓蒙しなければならない。これが日本人はわかっていない。自分たちはブランドは出来ないとと思っている。啓蒙活動をする人が多ければ多いほど啓蒙は進む。漫画のプレーヤーは一杯いるが啓蒙する人は少ない。漫画の方が世界の芸術でトップなのだ。それを証明したくて作品を作っている。葛飾北斎の赤富士、当時は単なるポスターだった。それがフランスの印象派の人々が素晴らしい！と言って（モネとかゴッホ……）世界の浮世絵になっていった。何故、逆輸入しか出来ないのか？日本の文化を日本人が世界に問かけけるのが重要。それを自分の使命と思っている。日本画の市場はバブルの時、クラッシュした。今、現代美術の世界にいて16億円はおかしい……当時のバブル経済の時の日本画の値段がおかしいように16億円もおかしい。しかしこれがずっと続けばおかしくない。どうしたら続くのか懸命に考えている。

アニメは漫画を薄めたもの。1970年ごろのアニメは薄かった。アメリカ人にとって現在のコンテンポラリー漫画は濃すぎてわからない。フィギュアはヌードではなくデホルメできる。自分のフィギュアは一度見たら忘れられないもの。自分は抽象画が専門でギリシャ彫刻と日本のオタク文化を接合するとボクの絵になる。トレンドを聞き、トレンドとは違うものを作るように心がけている。漫画も読者の投票により決まってくる。いままで間違っていた教育を受けていたことを判ってもらいたい。芸術はちゃんとマーケットがあってそのマーケットと歴史を作ろうとする人によって出来る。今は資本主義と芸術家の思いが近づいてきた。

印象派の連中も、日本の横山大観も米国の資本主義の中で金と実力を蓄え、認められてきたのだ。